

希望 輝き 絆

21・老福連 第13回職員研究交流集会

きづき きらめき

感謝 感激 感動



人間らしく「生きる」ために
今こそ輝かせよう ほんまの社会福祉

～高めよう 私たちの 援助実践 広げよう 新しい 福祉の8K～

開催要綱



▶ 日時

2013年 12月7日(土)～9日(月)

▶ 会場

12月7日・9日 立命館大学・朱雀キャンパス / 8日 佛教大学・紫野キャンパス

▶ 参加費

3日間 10,000円 2日間 8,000円 1日間 6,000円
1日目夜 夕食交流会 9,000円

▶ 主催

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称=21・老福連)

▶ 後援

京都府 京都市 社会福祉法人 京都府社会福祉協議会
社会福祉法人 京都市社会福祉協議会 一般社団法人 京都市老人福祉施設協議会
一般社団法人 京都社会福祉士会 一般社団法人 京都府介護福祉士会
公益財団法人 京都新聞社会福祉事業団 公益社団法人 認知症の人と家族の会

参加の呼びかけ

全国の老人福祉施設関係者のみなさん

私たち「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」(略称：21・老福連)は、実践交流と連携を目的とした老人福祉施設の連絡組織として、2001年3月に発足いたしました。

発足にあたって、

- ① 介護保険の混乱と矛盾から高齢者を守る立場で、公的福祉の確立をめざすとともに、真の高齢者福祉、介護保障のあり方について実践も含めた意見交換を活発に行う
- ② 高齢者主体の援助実践、ケアの質、暮らしの内容を豊かにするため、「職員研究交流集会」を開催する
- ③ 老人福祉の向上をめざす活動、社会保障を守る活動などを諸団体と共同、連携し、積極的に進める

これらを目的に掲げ、毎年「実践・交流・連携」を重ねてきました。

実質マイナスの2012年度介護報酬改定を受け、高齢者の暮らしや介護施設・事業所の運営は困難を深めています。追い討ちをかけるように「税と社会保障の一体改革」による消費税の値上げや介護保険の改定などが予定されています。そんな今だからこそ、社会保障・社会福祉はどうあるべきかを今年の集会でも考えていきたいと思えます。多くの高齢者福祉に携わる全国の仲間が希望をもちより、元気を持ち帰れる職員研究交流集会となるよう多くの方々のご参加を、歴史と伝統と進歩の街・京都にてお待ちしております。

日時

2013年12月7日(土) 13:00~17:30 ※夕食交流会 19:00~21:00
8日(日) 9:00~16:00
9日(月) 9:00~12:20

会場

12月7日・9日 全体会 立命館大学(朱雀キャンパス)
8日 分科会 佛教大学(紫野キャンパス)
7日夜 夕食交流会 京都国際ホテル

参加費

3日間 10,000円 2日間 8,000円 1日間 6,000円
1日目夜 夕食交流会 9,000円

主催

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称21・老福連)

Tel 06-6770-1600 Fax 06-6770-1611

E-mail roufuku@siren.ocn.ne.jp <http://www.roufukuren.jp/>

➤ お問い合わせ先 ◇現地実行委員会事務局◇

社会福祉法人七野会 特別養護老人ホーム 原谷こぶしの里(担当:介山)

Tel 075-463-4888 Fax 075-464-8415 E-mail kobushi@nananokai.com

申込方法

別紙、名鉄観光からのご案内文書をご確認の上、「参加申込用紙」に必要事項をご記入いただき、FAXにて名鉄観光にお申込ください。

★ 参加申込締切 10月7日(月) ★

申込受付後、11月中旬より名鉄観光から、参加確認書(参加券・宿泊利用券など)と請求書・振込依頼書をお送りいたします。

テーマ

人間らしく「生きる」ために 今こそ輝かせよう ほんまの社会福祉
～高めよう私たちの援助実践 広げよう新しい福祉の8K～

目的

見直しのたびに引き上げられる介護保険料。介護報酬も実質マイナス改定で、高齢者のくらしも介護施設・事業所の運営や職員の生活も大変。この上に、消費税が上げられたら一体どうなるの…？

日本国憲法で保障された生存権を実現する、真の社会福祉はどうあるべきか。
福祉・介護職員が生きいきと働ける職場をどのようにつくるか。
全国から実践を持ち寄り、交流し、考えあいます。

プログラム

1日目 12月7日(土) 《全体会》

12:00～	受付開始
13:00～ 13:10	歓迎セレモニー
13:10～ 13:30	開会挨拶・オリエンテーション
13:30～ 14:00	基調報告 21・老福連 事務局長 正森 克也氏
14:00～ 15:30	記念講演Ⅰ「認知症を生きる人たちから見た地域包括ケアとは」 講師 京都府立洛南病院 医師 森 俊夫氏
	(休憩)
15:40～ 17:30	シンポジウム「私たちの地域包括ケアシステム」 コーディネーター 21・老福連 代表幹事 廣末 利弥氏 発題予定 ○買い物支援を通して高齢者の暮らしを支える女子学生の活動 ○24時間365日の見守りと安心を提供するLSAと社会福祉法人の役割 ○地域に根付き、総合的なサービス提供により福祉ニーズにこたえる社会福祉法人の役割
17:30	終了

《交流会》

19:00～ 21:00	豪華な料理と美味しいお酒に舌鼓を打ちながら、交流を深めましょう。 見て・聞いて・参加して……楽しい催しを企画しています。
-----------------	---

2日目 12月8日(日) 《分科会》

8:30～	受付開始
9:00～ 16:00	10分科会・20分散会 日頃の熱いとりくみを報告し意見交換して、私たちの思いや誇りを確認しましょう。

3日目 12月9日(月) 《全体会》

8:30～	受付開始
9:00～ 10:20	記念講演Ⅱ「税と社会保障の一体改革と介護保険制度」 講師 立命館大学産業社会学部 教授 唐鎌 直義氏
	(休憩)
10:30～ 12:00	記念講演Ⅲ「家族の立場から願う ホンマの介護保険制度をつくるために」 講師 認知症の人と家族の会 副代表理事 勝田 登志子氏
12:00～ 12:20	閉会式・次回開催地挨拶

● 基調報告

7日(土) 13:30~14:00

21・老福連 事務局長 正森 克也氏

2015年度介護報酬改定へ向けての検討がすすめられています。軽度者の保険給付からの除外、ケアマネの有料化、一定以上の所得のある人の利用料1割負担を2割・3割に、特別養護老人ホーム多床室の居住費徴収などがあげられています。社会福祉法人がどのように真価を発揮していくのか問われています。人間の尊厳を守る真の社会福祉はどうあるべきか、一緒に考えてまいりましょう。

● 記念講演Ⅰ

7日(土) 14:00~15:30

「認知症を生きる人たちから見た地域包括ケアとは」 講師 京都府立洛南病院 医師 森 俊夫氏

2012年 約1,000人が「京都市認知症ケアを考えるつどい」に集まり、2012・京都文書はその約1,000人の拍手で採択され、京都の認知症ケアの確立に向け一歩を踏み出しました。京都で取り組むこれらの実践について学び、認知症ケアと地域包括ケアのあるべき姿を考えてみましょう。

● シンポジウム

7日(土) 15:40~17:30

「私たちの地域包括ケアシステム」

コーディネーター 21・老福連 代表幹事(社会福祉法人七野会 理事長) 廣末 利弥氏

シンポジスト 《買い物支援をとおして高齢者の暮らしを支える女子学生の活動》
《24時間365日の見守りと安心を提供するL S Aと社会福祉法人の役割》
《地域に根付き、総合的なサービス提供により福祉ニーズにこたえる社会福祉法人の活動》

これからの高齢者福祉の姿として2007年に導入された「地域包括ケアシステム」。住み慣れた地域で24時間、365日の安心を謳いますが実際はどうでしょうか。提唱される前から、地域に根付き、地域と共に歩み、暮らしを支えてきた福祉施設や地域の住民団体、学校など様々な取り組みがあります。今、あらためて住民目線、住民本位の「地域包括ケアシステム」のあるべき姿と、それを実現するために、社会福祉法人と特養ホームなどの福祉事業所の果たすべき役割と使命について一緒に考えたいと思います。

● 記念講演Ⅱ

9日(月) 9:00~10:20

「税と社会保障の一体改革と介護保険制度」

講師 立命館大学産業社会学部 教授 唐鎌 直義氏

ホンマの社会福祉を考える上で福祉財源についての学びは不可欠です。生活に直結する税の問題や社会保障の問題など、財政面の視点も含めて介護保険制度を学んでみたいと思います。

● 記念講演Ⅲ

9日(月) 10:30~12:00

「家族の立場から願う ホンマの介護保険制度をつくるために」

講師 認知症の人と家族の会 副代表理事 勝田 登志子氏

利用者・家族の立場から厚生労働省社会保障審議会介護給付費分科会で奮闘されている勝田氏の話聞き、今まさに介護保険制度がどうなろうとしているのか学びます。そのことから、私たちがすべきこととは何かを見つめなおすことができるはずです。